



祝！アカッコ館 30 周年！毎月 30 日は入館無料

あかっこ



あかっこはインターネットでカラー版が見られます。http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/

子ガモ?いいえ、日本1小さなカモ「コガモ」

秋から次の年の春までは、カモなどの水鳥たちが大路池にやってくる季節です。その中でもよく見られるコガモを紹介します。

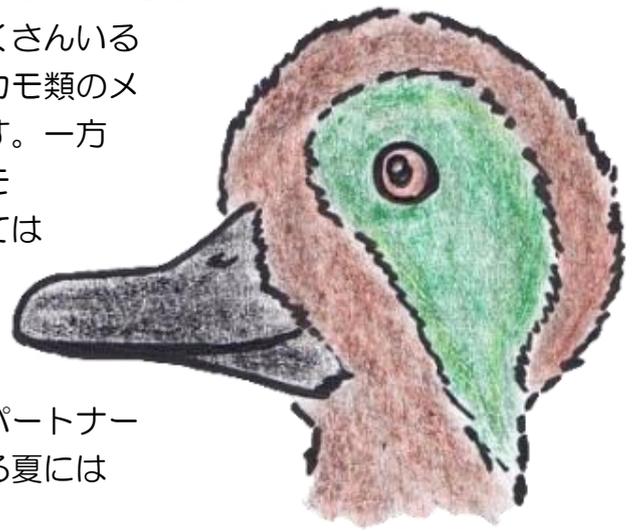
コガモは、日本で1番小さなカモの仲間です。同じく大路池でよく見られるマガモやカルガモと比べるとかなり小さく、その差は親子と間違えてしまうほどです。

カモの群れを観察すると、茶色っぽいカモがたくさんいることに気が付くと思います。これはカモのメス。カモ類のメスはどの種も地味な色合いで、見分けが難しいです。一方で、オスは美しい羽をもつものが多いです。コガモのオスは、頭が茶色で、目の周りから首元にかけては光沢のある美しい緑色をしています。

このような美しい羽は、メスにアピールするためのものですが、敵に見つかりやすいという欠点もあります。そのため、カモ類のオスたちはパートナーを探す冬はカラフルな色合いになり、繁殖が終わる夏にはメスと似たような目立たない色合いになります。

また、カモ類は足に水かきがあるのも特徴で、指と指の間が膜で繋がっています。しかし、コガモは水に潜るのは得意ではないようで、水面に浮いた植物の種や水面から届く範囲の水草などを食べています。

カモ類は美しい羽だけでなく、ケンカや採餌などさまざまな行動を見せてくれるので、観察が楽しい鳥です。11月23日と26日には水鳥観察会を開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。
(文 T・K、絵 H・M)



■無料開館のお知らせ

バードアイランド三宅島にちなんで、毎月西(鳥)の日が入館無料になります。
11月の無料開館日は11日(日)、23日(木)です。また開館30周年記念で毎月30日は無料開館です。

三宅島自然ふれあいセンター・アカッコ館

2023.11 vol.320

■開館 9:00~16:30 ■休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日) ■利用料 200円(中学生以下と65才以上は無料)
■〒100-1211 東京都三宅島三宅村坪田4188 ■TEL 04994-6-0410 ■FAX 04994-6-0458
■E-mail miyakejima@wbsj.org ■HP <http://www.wbsj.org/sanctuary/miyake/> (こちらからはカラー版をダウンロードできます。こちらのQRコードからアカッコ館ホームページにアクセスできます→



水鳥観察会

カモなどの水鳥たちを見てみませんか。
運が良ければ、タカの仲間やカワセミが見られるかも。

参加費
無料

【開催日】 11月23日(木・祝)、26日(日)

※開催時間中、レンジャーが観察道具を用意してお待ちしています。

お好きな時間に、短時間での参加も可能です。お気軽にお立ち寄りください!

【時間】 10:00 ~ 13:00

【場所】 大路池 北側棧橋 【対象】 どなたでも

●カモか?いや、オオバンだ! カイツブリだ!



オオバン

オオバンは、真っ黒な体に真っ白なおでこくちばしが特徴的な鳥です。例年10月~4月頃まで見られますが、11月中~下旬に最も個体数が多くなり、100羽を超えることも珍しくありません。

陸に上がって草を食べることも多いようですが、三宅島では、もっぱら池で水草を食べていて、陸上で見かけることはほとんどありません。



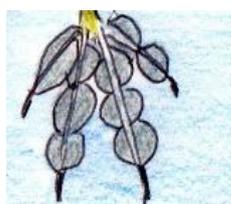
カイツブリ

カイツブリは、コガモよりもさらに一回り体が小さい鳥です。夏羽は首回りが濃い赤茶色ですが、今の時期にやってくるのは、淡い色をした冬羽のカイツブリです。オオバンのように個体数は多くなりませんが、10月~4月にかけて頻繁に見られます。

水に潜るのがとても得意で、小魚などを捕まえて食べます。



カモの水かき



オオバンの水かき

弁足

オオバンやカイツブリは、弁足(べんそく)と呼ばれる、カモとは違う水かきをもちます。各指に木の葉のような形の水かきがついています。



お申込み・お問い合わせ

アカッコ館 TEL: 04994-6-0410 MAIL: miyakejima@wbsj.org